



雨の中の春祭り

「若い人」シリーズ

かいしんかい
「海神會」のみなさん

活動紹介は裏表紙にあります。

西川町 議会だより



2013.7.16 85号

発行 山形県西川町議会

6月定例会報告	2頁
一般質問	6
追跡調査	10
「進んでいるか 総合産業化」	
議会と町民の対話の集い	12
新議会構成の紹介	14
議会の動き	15

決定

6月
定例会

県内初!!

麻疹・風疹の混合ワクチン費用助成

自己負担5千円で

6月定例会は6月4日から7日までの会期で開かれました。町からは、海味二本松地内住宅団地工事の請負契約金額の変更や西村山西部地区土地開発公社の解散、2件の条例案件、一般会計と簡易水道特別会計補正予算が、議案として提出されました。議案からは、TPP交渉参加に反対する意見書を議案として提出しました。議案は、慎重に審議した結果全て全員賛成で可決しました。一般質問は、6人の議員が7件について行いました。また、議会最終日に、西川町総合開発株式会社と株式会社米月山の経営状況の報告がありました。

風疹が全国規模で流行しており、妊娠初期の妊婦が感染すると胎児が感染し、難聴や心疾患、白内障などの先天的な障害を持った子どもが生まれる可能性があります。そのため、妊婦となる女性だけでなく、妊婦への感染を予防するために、免疫を持たない20代から40代の男女に接種を呼びかけています。しかし、費用が高額なため町では県内初となる予防接種費用の助成制度を導入していきます。但し、接種は西川町立病院に限定します。麻疹・風疹の混合ワクチンの接種費用は1人あたり1万380円かかります。そのうち5千380円を助成するこ



▲町立病院での予防接種

ととし、200人分、108万円の費用を盛り込んだ補正予算が可決されました。接種期間は平成26年3月31日までとなります。

西川町戦没者追悼式が町主催に

追悼式は昨年まで西川町社会福祉協議会が主催していましたが、今年度から西川町が主催することになりました。理由は、西川町遺族会から町で主催して欲しいという強い要望があったこと、慰霊祭から追悼式に変わって、宗教色がなくなること、近隣においても市と町が主催者となっていることなどからです。なお、今年は8月2日に行います。

住宅団地造成

平成24年度（繰越）みどり団地造成工事請負契約の一部変更について

造成工事を実施した結果、広場の法面の芝養生等設計の一部を変更する必要があるので、270万円を増額し、6千800万円に契約変更する提案があり可決しました。（全員賛成）

公社の解散

西村山西部地区土地開発公社の解散について

昭和49年に朝日町、西川町、大江町の三町で設立した西村山西部地区土地開発公社について、近年は公有地の先行取得や宅地造成などの事例がなく、今後も事業の実施が見込まれないことから、山形県知事に解散の認可を申請するため提案があり可決しました。

尚、350万円の出資金返還金については、財産売却収入として歳入に繰り入れることとしました。（全員賛成）

条例の設定一部改正

☆新型インフルエンザ等対策本部条例の設定
国の新型インフルエンザ等対策特別措置法の施行に伴い町の条例を制定しました。（全員賛成）
☆防災会議条例等の一部を改正する条例
防災及び災害に係わる事務の所管を「町民税務課」から「総務課」に変更するため条例を改正しました。（全員賛成）



空き家バンク

定例会開会中の議会全員協議会で、空き家バンクについて町から次のような説明がありました。町では、町内の空き家を有効に活用し、*IJUターンの対策を進め、定住人口の確保を行う一つの手段として、西川町空き家情報登録制度「空き家バンク」を始めました。町内にある賃貸借、売買可能な空き家の登録情報を町のホームページや広報誌等で公開して、希望する人に対して紹介を行なっています。現在、町内には155件の空き家があり、そのうち賃貸・売却の意向を示した物件は36件あります。平成25年5月で4件が登録され、利用希望登録者は、県内2名・県外1名です。空き家バンク要綱の中では、地域の一員として必要に応じ地域組織の運営にかかる費用の負担、並びに共同作業への参加ができる者



▲現在登録されている空き家

を受け入れることが利用条件に入っています。また、「空き家を利用することにより公の秩序を乱し、善良な風俗を害する恐れがある時は、登録を取り消すことができる」と明記しています。全国的に空き家が問題視されており、人口定住や環境保全のためにも、多くの方々に登録していただきたいものです。

- *Iターン 都市に居住していた人が地方に移住すること
 - *Jターン 地方から都市に移住した人が、別の地方に移住すること
 - *Uターン 就職等により都市に移住した人が、地元に戻って定住すること
- この3つを総称してIJUターンという。

大井沢地区に

補正予算 小水力発電の調査費がつく

～国100%助成で自然エネルギーの開発を～

平成25年度一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ1千955万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を44億55万2千円としました。平成25年度簡易水道特別会計補正予算は、歳入歳出それぞれ21万8千円を追加し、それぞれ7千3万5千円としました。補正の主なものは、町独自に実施する定期外の麻疹・風疹ワクチン予防接種費用の助成、小水力発電可能性調査事業費、融雪遅延対策事業補助金、防災関係設備移転工事費、公共施設の修繕など、一般会計・特別会計ともに原案どおり、全員賛成で可決しました。

質疑・応答

一般会計

問 小水力発電可能調査を今後どう進めるのか。

答 国の事業として町で可能性を調査する。事業導入については今後検討する。

問 町道梅沢根際線（あづま橋）の進捗状況はどうなっているか。

答 平成24年から用地交渉中。橋の架け替えだけでも3年を要する。



▲あづま橋

問 小学校プールの屋外トイレ凍結に伴う修理に関して、学校の施設全体の管理体制について問題はないのか。

答 平年に比べ気温が低かった事と水抜きが不十分であった事が主な要因。管理体制については十分と認識している。

問 町道橋梁の補修工事はどうなっているのか。

答 町で管理する橋は90橋、急ぎ修繕必要な橋は8橋、修繕必要な橋は47橋、必要無し35橋である。順次改修を進めていく。全体の計画を早い時期に説明したい。

問 大井沢のセミナーハウスのカヤ屋根は修繕費が掛かりすぎるし、利用者も少ない。活用できないのなら廃止した方がよいのでは

答 平成元年に整備してから25年になる。過去5年間の平均利用状況は年間143人、使用料年間2万4千円と低迷している。改善検討委員会でも議論しているが廃止も視野に入れながら検討したい。



▶セミナーハウス

主な補正予算

総務費	
防災設備移転工事費	48万円
民生費	
給食食材放射線量検査委託費	16万円
衛生費	
予防接種委託料	108万円
農林水産費	
小水力発電可能性調査委託費	680万円
土木費	
融雪遅延対策事業補助金	290万円
道路新設改良費	103万円
道路橋梁費	184万円
社会教育費	
一般コミュニティ助成事業助成金	250万円
セミナーハウス修繕料	83万円
災害復旧費	
農林業災害復旧事業補助金	60万円

経営状況報告

第22期西川町総合開発株式会社

売上げ重視から収益重視を目標に取組んだ結果、売上高（受託料含む）は5億2千167万円と前期対比98%（930万円減）となりましたが、原価、経費削減により、純損益は390万円と3期ぶりに黒字決算となりました。

第23期に向けては、平成24年期から平成28年までの5カ年の中期経営計画に基づき、優先順位の高い事項から順次取組み、健全な経営体としての体質改善を図っていきます。

第7期株式会社米月山

利益率の高い「白い発芽胚芽米」の販売環境が大変厳しい状況にあり、さらに原料玄米の値上げによる利益率の低下をカバーするために、最善の努力を続けてきましたが、経常利益は106万円の減となり、3期ぶりに赤字決算で累積債務を増やす結果となりました。

第8期に向けては、原点に戻り、本来の仕事である白い発芽胚芽米「月山まんま」「ギョバメシ」及び「つや姫」の製造加工に全力で取り組み、関連商品の販売拡大に努めていきます。

★議会での経営状況報告は、地方自治法の規定により、町が資本金の半分以上を出資している株式会社等が行います。

請願 採択で賛成全員 意見書の提出

意見書

☆T P P（環太平洋連携協定）への参加に反対する意見書

T P P参加は効果が少なく、農業への打撃をはじめとした失うものが余りにも大きいことや、国民に情報が開示されず、国民合意もいまま拙速にT P Pに参加することは容認できないため、意見書を提出します。

提出先

- 内閣総理大臣
- 農林水産大臣
- 財務大臣
- 外務大臣
- 厚生労働大臣
- 経済産業大臣

★3月議会でも、T P P交渉参加反対を求める意見書を提出しています。

第1回臨時議会

4月25日開催

☆除雪費の追加等平成24年度一般会計補正予算

☆町税条例の一部改正

☆国民健康保険条例の一部改正

以上3件の専決処分について、全員賛成で可決

☆副議長選挙

- 青山知教 議員 7票
- 飯野咲子 1票
- 無効 2票

☆監査委員の同意

宮林昌弘 議員

（賛成6、反対1、無効1）

★副議長選挙は、議長を含む10人が投票します。監査委員の同意は、議長と本人を除く8人が投票します。

第2回臨時議会

6月28日開催

給与削減決定！

期間：25年7月1日から26年3月31日まで

☆条例の一部改正

・町長、副町長、教育長の給料を5%削減するための条例改正を可決（賛成7・反対2）

・一般職の職員の給料を3.2%削減するための条例改正を改正（賛成6・反対3）

☆財産購入

・海味と水沢の消防ポンプ自動車の購入を可決（全員賛成）

議員自らも削減案を提出！

☆議員発議
・議員の報酬を3.2%削減する条例改正を可決（全員賛成）



宮林 昌弘 議員

空き家対策 景観保全のために 空き家対策を強化すべき

町長 雪対策も考慮しながら研究を重ねていく



▲石倉の元製材所

④ 雪対策と景観対策、空き家対策のすり合わせなど、今後研究を重ねる必要があると思う。

問 ① 今冬の豪雪で、空き家を含めた建物の損壊状況はどうなっているか。
② 危険な空き家が16棟あるが、解体勧告や命令を発した実例があるか。危険な空き家のある地区から解体等の要請はなかったか。
③ 石倉の元製材所が倒壊し無残な姿は、町の印象が悪いため、早期解体の行政対応をすべきではないか。
④ 美しい自然景観を保全するため、空き家条例と並行し景観条例を制定する考えはないか。

答 ① 元小屋等の全壊2棟と半壊2棟を確認している。
② 屋根から落雪の危険がある間沢の旧作業所を所有者に解体してもらった。
③ 解体勧告対象の石倉の元製材所は、倒産の清算処理は終了しているものの、所有者と管理者が不在で、第三者の抵当権が設定されている。
弁護士と協議した結果、抵当権等を解除すれば危険回避のために町が解体を行うことも可能であることが分かったので検討を行っている。

第三セクター 経営状況をどのように分析しているか

町長 (株)米月山は農業法人としての体制づくりを検討する



伊藤 哲治 議員



▲リニューアルが予定されている銘水館周辺

今後のあり方や方向性を決定し基本計画を作成する。

問 ① 平成23年度末の決算で、西川町総合開発株式会社は資本金の半分、株式会社米月山にいたってはほとんどを食い潰しているが、平成24年度の経営状況を各々の会社について、どのように分析し今後どう対処していくのか。
② 総合交流センターリニューアル管理運営事業に、今年度予算で5千185万円を計上しているが、どのようなコンテンツに基づいてリニューアルするのか、町としての基本的な考え方は。

答 ① 西川町総合開発(株)は、経営改善に努力して三期ぶりの黒字決算。今後も引き続き経営の安定化に努める。
赤字決算となった(株)米月山では、集落営農と連携した取り組みも視野に入れ、農業法人としての今後の体制づくりを検討して行く。
② 5千185万円は施設管理委託や修繕費を含む額であり、リニューアル調査基本設計費は455万円。
直売所も一体となった売場づくり、町内観光と飲食ポイント誘導機能強化、地域食文化等の体験機能づくり、屋外トイレの移設などに重点を置き、今後のあり方や方向性を決定し基本計画を作成する。

一般質問

明確な答弁を求める!!

6人の議員が、次のことについて一般質問を行いました。議会だよりには、1議員1項目のみの掲載となりますので、詳しくは町のホームページの中にある6月定例会録画中継をご覧ください。

- ◆景観保全のため空き家対策を強化すべき 宮林 昌弘 議員
- ◆第三セクターの経営状況について 伊藤 哲治 議員
- ◆空き家対策について 佐藤 幸吉 議員
- ◆エネルギー政策の推進について 奥山 敏行 議員
- ◆地域の元気臨時交付金の活用について
◆生活保護基準の切り下げと適用について 飯野 咲子 議員
- ◆人口減少の抑制を図る手段について 古澤 俊一 議員

一般質問とは

町の行財政全般にわたって、問題や課題を明らかにし、政策の改善や新規の政策の採用を求めるために行う論議



▲答弁する町長



佐藤 幸吉 議員

空家対策 条例と空き家バンクの有効活用を

町長 地域の協力を得て研究する必要がある

問 豪雪が続く倒壊している空き家が目立っている。空き家等の適正管理条例を効果あるものにするために、大井沢の先進事例などを参考に、行政と地域住民の連携によるシステムを作ってはどうか。また空き家バンクの利用促進を図るため、所有者と利用希望者の登録を促すための対策を強化し、利用者には一定の居住経過後「空き家利用促進奨励金」を制定してはどうか。

答 空き家等の所有者から適正な管理を理解し実行してもらうことが重要だ。空き家等の対策は、区長や町内会長、町民の方に説明して協力を得ている。大井沢地区で離村にあたり建物の解体や管理人を設置する申し合わせは、先進的な取り組みだと思う。地域と連携した取り組みについて、地域づくりも含め地域の協力を得て研究する必要がある。空き家バンク制度は、各地区と連携を図ると共に広報誌やホームページで周知を図っていく。



▲新たな人が居住した住宅

また、「西川町住宅建築支援事業」を利用して改修すると最大110万円の補助が受けられる。



奥山 敏行 議員

再生エネルギー 環境エネルギーの創出と再生エネルギー計画を進めては

町長 町全体の再生エネルギー量の調査を行う

問 2年前の3・11大震災では物流が止まり、町でも暗闇の中で、寒さとの闘いとなった。また、原発は放射能で日本を狂わせた。そのような中でも、西川町は自然豊かで、緑の森林と豊富な水、多くのエネルギーを生み出す事のできる恵まれた条件を備えた町だ。山を利用してのバイオマスエネルギーや水を利用した小水力発電など、町内の環境エネルギーの創出と再生エネルギー計画をどう進めるのか。

答 今年度は、木質バイオマスを使用した温泉館のボイラーシステムについて、システムの規模やバイオマス燃料の調達計画、経済性の試算などを検討し、基本設計を作成する。小水力発電についても、昨年度から水沢温泉館近辺での農業用水路を利用して、マイクロ発電の実証を行っている。再生エネルギー計画の見直しは、町全体の再生エネルギーがどれくらいあるのか、その量を調査し、可能な再生エネルギーの導入形態や方法を提案し、そのワークシヨップを行う予定だ。前段の温泉館の取り組み調査とダブらないように調整して行く。



▲議員研修で見て来た小水力発電機（桐生市）



飯野 咲子 議員

元気臨時交付金 元気臨時交付金の活用を!

町長 公共投資に対する特別措置であり、3事業が該当した

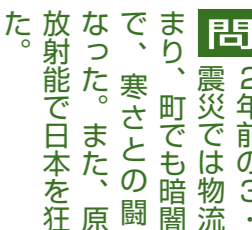
問 平成24年、政府の大規模な補正予算による大型事業のほとんどが公共事業で、地方自治体の負担を伴うことから、軽減を図るために建設国債を財源とした「地域の元気臨時交付金」を創設した。24年度限定の交付金であり、その交付金でゆとりの出る一般財源は、町民のために活用すべきではないか。農業用機械・ストロークラッシャー購入、各集落に雪処理用のユンボ配置、低所得者に5千円の燃料券の交付をしてはどうか。

答 「地域の元気臨時交付金」は、日本経済再生に向けた緊急経済対策において、新たに追加される公共投資に対する特別措置であり、補正事業として計上し、各省庁において採択された事業が対象となる。当町では3事業が該当したが、その財源としては、特定財源が交付税に算入される起債から、交付金に変更している。財政運営は、住民の福祉増進のために、計画的・効率的に運営している。今後も住民の意見を聞き、政策的・計画的に進めて行くので、提案については、今後の事業の参考にしたいたい。



▲雪処理でも活躍するユンボ

※ストロークラッシャー
農業用にじやまな農地の石を粉砕する機械。



古澤 俊一 議員

人口減少 出産祝金や結婚祝金を拡充する考えはないか

町長 ニーズを捉えながら、積極的な支援策を検討していく

問 ① 第3子祝金は限られた人しか対象とならないので、第1子からの出産祝金を拡充する考えはないか。② 結婚祝金支給制度を創出する考えはないか。③ 町を離れる理由は、雪処理に関するものが多い。豪雪地に暮らす人たちは、地域で森林等を守り、国土荒廃と地球温暖化の抑制に尽力している。それらの世帯に対して、恒久的な補助金が交付されるよう、類似町村と共同施策で国に要請してはどうか。

答 ① 町では、今年度新たに町の保育園を利用する第3子以降の保育料無料化や、昨年から中学生までの医療費無料化など、子育て支援策を積極的に実施している。今後も子育て世代のニーズを捉えながら、積極的な支援策を検討していく。② 結婚支援としては、ブライダルサポート事業や子育て支援、みどり団地等の若者定住化支援などの充実を図っている。③ 特別豪雪地帯である大蔵村や尾花沢市など、豪雪で苦慮している自治体同士が手を組んで、積極的に国や県に要望していく必要があると考えている。



6人の一般質問

6人の一般質問

進んでいるか 総合産業化

総合産業化の提言と取り組み状況

	議会からの提言概要	町の取り組み（平成25年4月現在）
第1次産業の活性化	山菜の増産と、日本一の山菜の町を目指す取り組みを強化すること。	生産量並びに販売量は、〔表1〕のとおり年々増えている。山菜きのこ集出荷協議会を通じ山菜等の生産・集荷支援を行っている。
	冷温、塩蔵などの保存方法の対策を講じること。	急速冷凍機、冷凍庫が導入され、商品の長期提供が可能になった。塩蔵山菜の出荷方法を指導している。生鮮以外の商材として塩蔵山菜の出荷量が飛躍的に伸びている。
	野菜の産地化と付加価値向上を図ること。商品の量産化を図り、西川ブランドの確立をすること。	JAと連携し産地化に取り組んでいる。緩やかではあるが野菜の生産量が伸びている。
	啓翁桜と花木の団地の拡大並びに後継者育成を図ること。	植栽地の拡大に向けて各関係機関に働きかけを行っている。新規参入者を育成している。
農商工連携の一層の強化	いきいき直売所の1億円産業を目指すこと。	いきいき直売所の売り上げの推移は〔表2〕のとおり。生産支援と地産地消の推進等を実施し、出荷量の向上を図っている。
	生産者グループをつくり安定した高品質の農産物の提供を図ること。	道の駅に、農産加工機能と新商品の開発部門を設置し、町内4つの女性グループによるテスト販売を行うとともに、山菜をメインとするイベントで盛り上げを図っている。
	直売所、銘水館、温泉館の人的流れを効果的にするために検討を行うこと。	平成25年度に調査費を投入し、環境整備のための検討をしていく。
	町内旅館、料理店、小売店との連携を図り、地産地消を進めるためのシステムをつくること。	町内の旅館民宿組合等と、町振興農産物等の利用促進の話し合いを進めており、農場視察等の活動を実施する予定。
	山菜そばの振興と山菜の食を観光面で活かし経済の活性化を図ること。	町内産のそばを使ったそば祭りを、昨年度初めて実施した。実施方法や開催場所等について改善を図り、今年度も引き続き実施していく。
取り組みと成果の公表	これまでの総合産業の取り組み状況を明らかにし、展望を示すこと。	農産加工の取り組みや商品情報、農産物の販売状況等について、インターネットを活用し情報発信を始めた。町報等でも情報発信をしていく。



▲地元農産物を使用した料理を作る「いきいき食堂」の皆さん

商品毎の生産量、販売額並びに目標額 〔表1〕

品目	目標額 (万円)	H23		H24		販売額 (万円)	
		面積 (a)	生産量	面積 (a)	生産量		
ナス	2,000	80	22.7t	653	80	35.1t	774
カボチャ	500	242	17.2t	246	336	28.7t	359
ニンニク	700	25	0.3t	60	25	0.5t	60
サクランボ	2,500	608	10.4t	1,507	608	8.6t	1,790
啓翁桜	1,800	1,350	169千本	1,724	1,400	170千本	2,192
山菜	3,200	—	34.2t	2,777	—	41.4t	2,983
きのこ	2,500	—	28.5t	2,381	—	29.5t	2,689

(生産量及び販売額はJA・いきいき直売所等の出荷額)

いきいき直売所の売り上げの推移 〔表2〕

H22	H23	H24
3,937万円	4,046万円	4,462万円

【総合産業化とは】

第1次産業に従事する農家が、第2次産業である食品の加工や第3次産業の流通や販売を担うことによって付加価値を高くする経営のこと。第6次産業とも言うが、これは第1次産業、第2次産業、第3次産業の数字を掛け合わせて表現したもの。

平成25年度西川町の町政運営の柱のひとつに、総合産業化の推進があります。総合産業化推進の目的は、町民の所得向上に結びつく安定した産業基盤をつくることです。議会では、この事業をもっと早く、具体的に進めるよう、平成23年12月に「政策提言書」を町に提出しました。

提言書を提出してから1年半、町がこの事業を始めてから7年が経過した現在、総合産業化の推進事業は、具体的にどのようになっているのか、どのように変わったのかについて調査しました。

次のページに総合産業化の提言内容と取り組み状況を一覧表にしました。

この事業に対する取り組みは確かに進んでいるが、課題も多く今後関係者の大いなる奮起に期待したいところです。

語るう! 西川のために 「議会と町民の対話の集い」開催 意見を! 未来のために



「議会報告会」は、今年度から内容を変えて開催することになりました。議会が選んだテーマについて、町民の皆さんからご意見を出していただきたいと思っております。

今年のテーマは「町立病院のあり方」と「銘水館周りの*リニューアル」です。

新しい試みですので、多くの皆さんの参加とご意見をお待ちしています。

*リニューアルとは
改装などのこと

- 1 トイレや駐車場、売店、観光案内所などの配置について
- 2 売店やレストラン、温泉館、観光案内所などの活用について
- 3 その他

「銘水館周りのリニューアル」



道の駅（銘水館周辺）を使い勝手が良く魅力のある施設にするために、どうすればいいのかお聞かせください。

- 1 総合診療科体制について
- 2 予約した場合を含めた待ち時間について
- 3 その他

「町立病院のあり方」

町内で唯一の医療機関である町立病院は、新診療体制になって、3か月が過ぎました。次の点を中心にお聞かせください。

期 日	時 間	地 区	場 所	担 当
7月22日(月)	10時から	志 津	志津会館	青山知教・古澤俊一・飯野咲子 横山 修・佐藤幸吉
	19時30分から	海 味	海味公民館	井場榮治・古澤俊一・奥山敏行 佐藤耕二・伊藤哲治
7月23日(火)	19時30分から	綱 取	綱取公民館	青山知教・宮林昌弘・飯野咲子 横山 修・佐藤幸吉
	19時30分から	沼 山	沼山多目的集会センター	井場榮治・古澤俊一・奥山敏行 佐藤耕二・伊藤哲治
7月26日(金)	19時30分から	水 沢	高齢者コミセン	青山知教・宮林昌弘・飯野咲子 横山 修・佐藤幸吉
	19時30分から	本道寺	本道寺地区集会センター	井場榮治・古澤俊一・奥山敏行 佐藤耕二・伊藤哲治
7月29日(月)	19時30分から	入 間	入間公民館	青山知教・宮林昌弘・飯野咲子 横山 修・佐藤幸吉
	19時30分から	岩根沢	岩根沢公民館	井場榮治・古澤俊一・奥山敏行 佐藤耕二・伊藤哲治
7月30日(火)	19時30分から	吉 川	吉川地区研修センター	青山知教・宮林昌弘・飯野咲子 横山 修・佐藤幸吉
	19時30分から	間 沢	間沢公民館	井場榮治・古澤俊一・奥山敏行 佐藤耕二・伊藤哲治
8月 5日(月)	19時30分から	小 山	小山児童館	青山知教・宮林昌弘・飯野咲子 横山 修・佐藤幸吉
	19時30分から	睦 合	睦合公民館	井場榮治・古澤俊一・佐藤耕二 伊藤哲治
8月 6日(火)	19時30分から	大井沢	大井沢交流センター	青山知教・宮林昌弘・飯野咲子 横山 修・佐藤幸吉

みんなの意見が議会を育てる

町の議会は

これまでの地方議会は、行政を監視する機能が特に重要とされてきました。しかし、今の議会は執行権のある首長と議決権を持つ議会が、地域の発展や住民の幸せのため、お互いが知恵を出し合い努力すべきとの考えが強くなってきました。

西川町では町民に最も身近にいる議員が、いろいろな場面で町民の意見を聞き行政側に伝えることや、町民の意見を反映した政策・条例を提案していくことが重要と認識し、監視機能、町民の意見の代弁、政策提言の三つの機能を十分に活かした「進化する議会」を目指し、動き出しています。

町議会の三つの役割



議会が 政策提言

町民の意見を取りまとめ
条例や政策を
提言する役目

行政を しっかり監視

町長の政策が間違っ
た方向にいかないよう
監視する役目

町民全体 の意見を代弁

町民の多くの意見を
行政側にしっかり
伝える役目



「進化する議会」に 町民みんなを変えよう

**第1回臨時会 平成25年4月25日
議会の新構成が決まりました**
副議長は5月1日、常任委員会
委員は5月9日に就任しました。

議長 井場 榮治
副議長 青山 知教



議長の任期は4年間なので、交代はありません。副議長の任期は2年間です。

議会運営委員会

委員長 古澤 俊一
副委員長 伊藤 哲治
委員 横山 修
委員 佐藤 耕二

議会の運営や会議規則、委員会条例、議長からの諮問に関する事項を担当します。



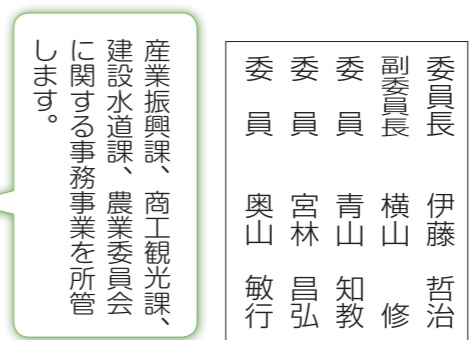
**総務厚生
常任委員会**



総務課、政策推進課、町民税務課、出納室、健康福祉課、町立病院、教育委員会等に関する事務事業を所管します。

委員長 佐藤 耕二
副委員長 飯野 咲子
委員 井場 榮治
委員 古澤 俊一
委員 佐藤 幸吉

**産業建設
常任委員会**



産業振興課、商工観光課、建設水道課、農業委員会に関する事務事業を所管します。

委員長 伊藤 哲治
副委員長 横山 修
委員 青山 知教
委員 宮林 昌弘
委員 奥山 敏行

**広報公聴
常任委員会**



議会活動の広報公聴と、議会活動への町民の皆さんからの意見の聴取に関することを担当します。

委員長 横山 修
副委員長 佐藤 耕一
委員 伊藤 哲治
委員 佐藤 幸吉

交代があった役職

西村山広域行政事務組合
議員 井場 榮治
議員 奥山 敏行
議員 佐藤 幸吉

林業活性化議員連盟

会長 井場 榮治
副会長 青山 知教
幹事長 伊藤 哲治
幹事 佐藤 耕二
幹事 横山 修
幹事 飯野 咲子
監事 宮林 昌弘

道路整備促進協議会

会長 井場 榮治
理事 青山 知教
理事 伊藤 哲治
理事 宮林 昌弘

監査委員

宮林 昌弘

交代がなかった役職

町有林運営委員

委員 井場 榮治
委員 宮林 昌弘
委員 横山 修
委員 佐藤 耕二

農業委員

伊藤 哲治

おめでとうございます

**村山地方町村議会議長会
自治功労表彰**

■ 議員在職9年以上

井場 榮治 議員
(9年11か月)



古澤 俊一 議員
(9年11か月)



平成25年3月31日現在

議会の動き

議会運営委員会

4月22日 第1回臨時会の運営
5月24日 第2回定例会の運営
6月24日 第2回臨時会の運営

議会全員協議会

4月22日 議会の組織構成
6月25日 議員の給与削減
7月3日 第6次西川町総合計画基本構想素案

総務厚生常任委員会

5月13日 今年度事務調査の検討
6月4日 町立病院の診療体制と経営状況調査
7月3日 町民との対話の集いの検討

産業建設常任委員会

5月13日 今年度事務調査の検討
6月4日 請願審査
7月3日 総合促進交流センターリニューアル事業調査
7月3日 町民との対話の集いの検討

広報公聴常任委員会

5月13日 議会だより編集方針の検討
5月22日 山形県町村議会広報研修会
6月6日 議会報告会の検討
6月13日 議会だより編集会議
6月19日 議会だよりの編集会議
6月27日 議会だよりの第1回校正
7月1日 議会だよりの第2回校正
7月5日 議会だよりのアドバイザー指導
7月8日 議会だよりの第3回校正

視察受け入れ

5月23日 福島県只見町議会【議場視察】
7月3日 岩手県滝沢村【西川小学校視察】

議会だより読者モニターを募集しています

読みやすい広報誌にするために、年4回発行する「議会だより」のモニターを募集しています。方法は、郵送によるアンケート方式でご意見をいただきます。中学生や高校生の皆さんも大歓迎です。ボランティアによるご協力をお願いします。

応募締切日 8月20日(火)午後5時
連絡先 西川町議会事務局
電話74-5055 FAX74-4466

お詫言と訂正

4月15日発行の議会だより第84号の記事に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

4ページ 円グラフの説明
誤 「繰越金」
正 「繰入金」



『若い人』シリーズ 4

かいしんかい 海神會の活動



會長 奥山 莊一 さん (海味)

海神會は、地元海味地区を中心に、神輿を担いで歩く神輿渡御(みこしとぎよ)を行なっています。

会の設立は平成7年ですが、初代会長を中心に、担ぎ手である自分たちが楽しむこと、そこから地域を盛り上げることを考えてスタートしました。

早いもので、あつと年で創立20周年という一つの節目を迎えます。これまで支えてくださった地域の皆さんには心から感謝しています。

現在会員60名で、5月3日の海味神輿渡御や、9月に行われる寒河江神輿の祭典、10月の西川フェア、秋祭り前夜祭など、年間さまざまなイベントに参加しています。

担ぎ手は世代や地域を越え、さまざまなメンバーがいますが、若い人を中心に、最近では女性の会員も増えてきており、たいへん心強く感じています。風通しの良い会を作るために、若い人の意見もなるべく反映できるように取り組んでいます。

海神會の神輿は、「ドッコイドッコイ」の掛け声に

合わせて担ぐ、「ドッコイ神輿」と呼ばれるもので、寒河江神輿會の兄弟會でもある南部粹龍會(ななぶすいりゅうかい)に教えてもらったものです。

神輿本体は、神輿上部に提灯が付いている「万燈神輿」(まんとみこし)と呼ばれるものです。夜に灯りを入れた万燈神輿はとてもきれいです。その神輿を粹に担げるようにがんばっていますので、ぜひ、夜に映える万燈神輿も見ていただきたいと思っています。

昔は、お祭りといえば、出店があり、そこに自然と子どもたちが集まる光景があたりまえのようにありました。

今年の5月3日には、子どもたちの感じたワクワク感を、今の子どもたちにも感じてもらうと、ほんの少しですが、海神會で出店も準備しました。ふるさとの祭りが楽しいもので、自分も参加したい



▲ 海神會の皆さん

と思っただけならば、たいへんうれしいです。

海神會は、西川町にある地域を盛り上げている各団体の皆さんと協力しながら、地域、そして西川町全体を盛り上げていくと今後活動も続けていきたいと願っています。

議会へのおさそい

皆さん傍聴してみませんか

インターネットでもご覧いただけます

次回定例会は
9月です

編集後記

広報広聴常任委員会は、委員4人のうち2人が交替し、新たなスタートを切りました。

前任者の奥山委員長、飯野委員のお二人の努力で、西川町の「議会だより」は県内でトップクラス、全国でもAクラスの評価をいただきました。お一人には2年間、本当にご苦労様でした。

新体制のもと、さらに読みやすい誌面づくりに頑張っています。

今、全国の地方議会が変わろうと動き出しております。西川町議会も「町民のための議会に」と、全員一致団結して努力しております。町発展のために、町民の皆様から議会に対して、ご意見をお寄せください。(横山 修)

発行・編集責任者

議長 井場 榮治

編集委員

委員長 横山 修

副委員長 佐藤 耕一

委員 伊藤 哲治

委員 佐藤 幸吉

●ご感想をお寄せください。